

ところバスの見直し・ところワゴンの導入

【背景】

所沢市では、路線バスが運行していない地域で、公共交通の利便性を向上させるため、平成10年からところバス（市内循環バス）を運行しています。

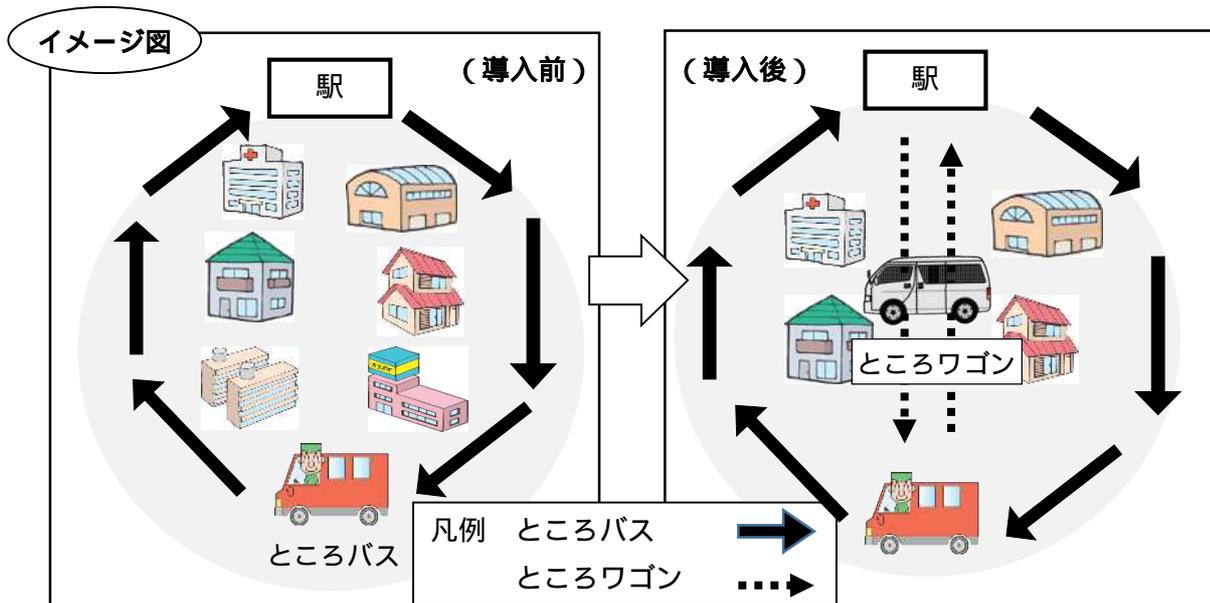
しかし、ところバスはコースが長く、時間どおりに来ない、便数が少ないなどの課題があります。

さらに、超高齢社会の進展、運転免許証自主返納の増加等の社会情勢から、高齢者も自由に出かけられる移動手段の確保が必要になってきています。また、ゼロカーボンシティの実現や市内の渋滞解消等へ向けて、自動車利用を抑制するために、公共交通の充実も必要となってきています。

【ところワゴン】

ところワゴンは地域完結型の短いルートで、駅を起終点として、公共交通ネットワークの利便性向上を図ります。生活の足として利用できるよう1時間に1本程度運行しています。

小型車両のため、道が狭いなどの理由でこれまで公共交通がなかった地域もルートに組み込まれています。ルートはなるべく往路、復路同じ道を通ることで、コンパクトなルートとなり、利便性が上がります。



【ところバス】

ところワゴン導入と並行して、ところバスの見直しも同時に進めています。ところバスは小型バス車両で運行しているため、輸送力が高く、住宅街や幹線道沿い等の利用者が多い地域を運行します。（南路線、松井循環等）

また、ほとんどの車両がノンステップバスで、車内が広く、乗降口も広いため、高齢者や体の不自由な方でも乗車しやすいため、障害者施設等があるコースはところバスが運行します。（こどもと福祉の未来館、国立障害者リハビリテーションセンター等）

ところバスは令和6年10月に大幅な変更を予定しています。